



「初孫の彩ちゃんがおひざに  
乗っていると、心まで暖かい」

いしはら あやか  
石原 彩香ちゃん (今立)  
H17.5.18生



「我が家のスーパーアイドルです」

みすみ がくと  
三角 岳人ちゃん (春日台)  
H17.9.3生



「最近寝返り成功したよ。  
これからも元気いっぱいの  
笑顔を見せてね♡」

しんたに だいき  
新谷 大輝ちゃん (金浦)  
H17.11.3生



「イチゴ大好き!!」

さかい ゆうか  
酒井 裕加ちゃん (金浦)  
H17.6.14生



「いつも笑顔で元気な孫です」

おきとう みか  
沖藤 未佳ちゃん (入江)  
H17.6.24生

あなたのお家の自慢できる人や物を紹介します。我が家のアイドル(子どもたち)、家族に人気者のペット、家宝、自分だけの宝物…。そんな自慢に一言メッセージを添えて企画政策課まで送ってください。

### 展覧会と行事のご案内

《特別展》生誕110年記念  
凝視の目 徳岡神泉  
6月10日(土)  
～7月17日(月・祝)  
竹喬と並び称される徳岡神泉の、西日本初の大規模な回顧展。

講演会  
6月11日(日)  
13:00～  
講師：原田平作氏  
(愛媛県美術館名誉館長)  
会場：笠岡グランドホテル  
無料・要予約 ☎63-3967

〒714-0087  
笠岡市六番町1-17  
☎63-3967  
ホームページ  
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/0013/0001.html>

「小さい町の周辺は、南に瀬戸内海を受け、其他は松巒と云つても、頂きに僅かの松林を残す段々畑の小山に蔽われているのである。先頃物故せられた藤島武二先生が、曾ての帝展に『耕して天に到る』と云う画題の絵を出陳せられたことがあったが、私の故郷、岡山県笠岡町はそうした感じのところである」  
(竹喬のことば)  
なだらかな山の斜面に沿うように畑が上へ上へと連なっている。そういう風景を今ではあまり見ることがないが、年をとつてからの竹喬が故里として思い出すのはこうした景色だったのだろう。スケッチは神島の風景で、竹喬が27歳の時のもの。



しまにさく  
島二作4  
小野竹喬 作  
大正5(1916)年  
44.8×27.2cm

竹喬美術館の光彩 42

### 今月の表紙

看護の日・病院の日にちなみ市民病院で開かれたイベントでは、患者さんや来場された皆さんに、「じじばばクラブ」から真心こもった手作りプレゼントが贈られました。市民病院では治療にあたる医師・看護師のほかに、数多くの病院ボランティアの皆さんが、それぞれに得意とする分野で活躍されています。  
市民の皆さんの経験や知恵を、まちづくりに一層活かしていくことが、今求められています。

### 係から

サッカーのワールドカップがよいよ開幕します。冬季五輪・野球のWBCに続くスポーツの一大イベントで、日本代表の活躍が待ち遠しいものです。  
近年は市内でもサッカーが盛んで、5月には笠岡総合スポーツ公園の陸上競技場をホームグラウンドとしている三菱水島FCが、見事にホーム初勝利を飾りました。爽快な気分を与えてくれる、青いトラックと緑の芝生が鮮やかなグラウンドに、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。(中)



中野素嗣



土屋武之

発行日/平成18年6月1日  
発行/笠岡市役所  
編集/企画政策課  
〒714-8601 笠岡市中央町1-1  
☎69-2110

印刷/株国輝堂 ☎67-5111

笠岡市ホームページ: <http://www.city.kasaoka.okayama.jp>  
メールアドレス: [kouhou@city.kasaoka.okayama.jp](mailto:kouhou@city.kasaoka.okayama.jp)



※この広報は再生紙を使用し地球環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。

100 古紙配合率100%の再生紙を使用しています